



means more
flexibility

CompTIA Cloud+ CV0-003とCV0-002 出題範囲の比較

組織でのクラウド活用が進む中で、セキュアなソリューションをデプロイ、自動化するために十分なスキルを持ったITプロフェッショナルの必要性がますます高まっています。

リモートワークが主流となり、また新しいテクノロジーが活用されるにつれ、ITプロフェッショナルは、許容される可用性をサポートしながら、データとアプリケーションをセキュアに保護し、IT環境を維持するといった企業が求めるスキルセットを習得する必要性が不可欠となっています。今回のCompTIA Cloud+の改訂では、インフラストラクチャの管理とサービスの最適化などを実施する職務に関連する、最新のスキルが繁栄されています。

改訂CompTIA Cloud+ (CV0-003) は、クラウドエンジニアとITプロフェッショナルがクラウドインスタンスとソリューションを展開、最適化し、トラブルが発生した際にトラブルシューティングできるスキルを評価します。改訂版の出題範囲では、スケーラビリティ、高可用性などがより詳細に出題され、またさまざまなベンダーから提供されているクラウドも出るを理解し、活用するために必要とされるスキルが網羅されています。



出題範囲の比較

CompTIA Cloud+ (CV0-003) は、5つの出題分野で構成されています。(CV0-002と同様の出題分野) 主な改訂項目は、セキュリティの重要性の高まりを受け、セキュリティ関連の項目が増えたことと、クラウドアーキテクチャのコンテンツも増えました。CompTIA Cloud+ (CV0-003) は、27の中項目で構成されています。CV0-002は、32の中項目で構成されていましたが、この変更はコンテンツの大幅な減少のためではなく、関連するテクノロジーをグループ化されたことによるものです。

下記の表は、CompTIA Cloud+ CV0-003とCV0-002の出題範囲の比較表です。

| CV0-003 | CV0-002 | Comments |
|---|---|--|
| 1.1 様々な種類のクラウドモデルを比較検討することができる。 | | クラウドサービスとソリューションの高度な知識を評価するための新しい出題項目です。 |
| 1.2 キャパシティプランニングに関連する要因を説明することができる。 | | 多くの場合、クラウドソリューションでは、コスト削減に効果的な分析機能を備えています。この出題項目では、この概念を評価しています。 |
| 1.3 クラウド環境における高可用性とスケーリングの重要性を説明することができる。 | | クラウドの2つの重要特徴である、高可用性とスケーラビリティに関連する出題項目です。 |
| 1.4 与えられたシナリオに基づいて、ソリューション設計を分析し、事業要件をサポートすることができる。 | 1.1 与えられたシナリオに基づいて、システム要件を分析し、システム展開を成功に導くことができる。 | |
| 2.1 与えられたシナリオに基づいて、認証管理とアクセス管理を構成することができる。 | 2.2 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティテンプレートに従ってアクセス要件を満たすように、ターゲットオブジェクトに適切なACLを適用することができる。 | |
| | 2.3 与えられたクラウドサービスモデルに基づいて、特定のセキュリティ要件を満たすように、定義されたセキュリティテクノロジーを実装することができる。 | |
| 2.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内のネットワークを保護することができる。 | 2.1 与えられたシナリオに基づいて、特定のクラウドインフラストラクチャ要件を満たすセキュリティ設定とコンプライアンスコントロールを適用することができる。 | |
| | 2.2 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティテンプレートに従ってアクセス要件を満たすように、ターゲットオブジェクトに適切なACLを適用することができる。 | |
| | 2.3 与えられたクラウドサービスモデルに基づいて、特定のセキュリティ要件を満たすように、定義されたセキュリティテクノロジーを実装することができる。 | |

| CV0-003 | CV0-002 | Comments |
|---|---|--|
| 2.3 与えられたシナリオに基づいて、OSとアプリケーションの適切なセキュリティ制御を適用することができる。 | 2.2 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティテンプレートに従ってアクセス要件を満たすように、ターゲットオブジェクトに適切なACLを適用することができる。 | |
| | 2.3 与えられたクラウドサービスモデルに基づいて、特定のセキュリティ要件を満たすように、定義されたセキュリティテクノロジーを実装することができる。 | |
| | 2.1 与えられたシナリオに基づいて、特定のクラウドインフラストラクチャ要件を満たすセキュリティ設定とコンプライアンスコントロールを適用することができる。 | |
| 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でデータセキュリティ制御とコンプライアンス制御を適用することができる。 | 2.1 与えられたシナリオに基づいて、特定のクラウドインフラストラクチャ要件を満たすセキュリティ設定とコンプライアンスコントロールを適用することができる。 | |
| | 2.3 与えられたクラウドサービスモデルに基づいて、特定のセキュリティ要件を満たすように、定義されたセキュリティテクノロジーを実装することができる。 | |
| 2.5 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティ要件を満たすための対策を実施することができる。 | 2.1 与えられたシナリオに基づいて、特定のクラウドインフラストラクチャ要件を満たすセキュリティ設定とコンプライアンスコントロールを適用することができる。 | |
| | 2.3 与えられたクラウドサービスモデルに基づいて、特定のセキュリティ要件を満たすように、定義されたセキュリティテクノロジーを実装することができる。 | |
| | 2.4 与えられたクラウドサービスモデルに基づいて、適切なセキュリティ自動化手法をターゲットシステムに適用することができる。 | |
| 2.6 インシデントレスポンス手順の重要性を説明することができる。 | | クラウドエンジニアの管理上の役割の増大とインシデント発生後のビジネスへの影響に対するクラウドの重要性に関連する出題項目です。 |
| 3.1 与えられたシナリオに基づいて、クラウドソリューションの構成要素を統合することができる。 | | クラウドにより変化するテクノロジーソリューション、特にスケーリング、コンテナ、サブスクリプションモデルなどに関連する新しい出題項目です。 |
| 3.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でストレージをプロビジョニングすることができる。 | 1.7 与えられたシナリオに基づいて、展開のために適切なストレージタイプと保護機能を分析することができる。 | |

| CV0-003 | CV0-002 | Comments |
|---|---|----------|
| 3.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウドネットワークングソリューションをデプロイすることができる。 | 1.5 与えられたシナリオに基づいて、仮想ネットワーク展開の際のサイジング、サブネットワーク化、および基本ルーティングを分析することができる。 | |
| 3.4 与えられたシナリオに基づいて、デプロイに向けた適切なコンピューティングサイジングを構成することができる。 | 1.6 与えられたシナリオに基づいて、展開のために必要なCPUとメモリサイジングを分析することができる。 | |
| 3.5 与えられたシナリオに基づいて、クラウドの移行を実施することができる。 | 1.8 与えられたシナリオに基づいて、移行の成功のために、ワークロード（ストレージ、ネットワーク、コンピュート）の特性を分析することができる。 | |
| 4.1 与えられたシナリオに基づいて、ロギング、モニタリング、およびアラートを構成し、稼働状態を維持することができる。 | 3.6 与えられたシナリオに基づいて、適切なメンテナンス自動化手法をターゲットオブジェクトに適用することができる。 | |
| | 4.1 与えられたシナリオに基づいて、異常の有無を判断したり、将来必要とされるクラウドリソースを予測したりするために定義された指標を分析することができる。 | |
| 4.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境の効率的な運用を維持することができる。 | 3.1 与えられたクラウドサービスモデルにおいて、特定のパッチを適用するための適切な方法を決定することができる。 | |
| | 3.3 与えられたシナリオに基づいて、適切なバックアップまたは修復方法を適用することができる。 | |
| 4.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境を最適化することができる。 | 3.6 与えられたシナリオに基づいて、適切なメンテナンス自動化手法をターゲットオブジェクトに適用することができる。 | |
| | 4.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウドリソースの適切な配分を決定することができる。 | |
| | 4.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウドリソースのプロビジョン/デプロビジョンのタイミングを決定することができる。 | |
| | 4.5 与えられたシナリオに基づいて、ベースラインを満たしていることを確認するために展開結果を分析することができる。 | |
| | 4.6 特定の環境および関連するデータ（例えば、パフォーマンス、キャパシティ、トレンド）が与えられた場合、クライテリアを満たすように適切な変更を適用することができる。 | |
| 4.4 与えられたシナリオに基づいて、適切な自動化技術とオーケストレーション技術を適用することができる。 | 3.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド要素を更新するための適切な自動化ツールを適用することができる。 | |
| | 3.6 与えられたシナリオに基づいて、適切なメンテナンス自動化手法をターゲットオブジェクトに適用することができる。 | |
| 4.5 与えられたシナリオに基づいて、適切なバックアップ作業と復旧作業を実施することができる。 | 3.3 与えられたシナリオに基づいて、適切なバックアップまたは修復方法を適用することができる。 | |

| CV0-003 | CV0-002 | Comments |
|--|---|---|
| 4.6 与えられたシナリオに基づいて、災害復旧タスクを実施することができる。 | 3.3 与えられたシナリオに基づいて、適切なバックアップまたは修復方法を適用することができる。 | |
| | 3.5 与えられたクラウドベースのシナリオに基づいて、事業継続を確実にする適切な手法を適用することができる。 | |
| 5.1 与えられたシナリオに基づいて、トラブルシューティングの方法論を活用し、クラウド関連の問題を解決することができる。 | 5.6 与えられたシナリオに基づいて、トラブルシューティング手法を説明することができる。 | |
| 5.2 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 5.5 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティの問題をトラブルシューティングすることができる。 | |
| 5.3 与えられたシナリオに基づいて、デブロイの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 5.1 与えられたシナリオに基づいて、展開の際の問題をトラブルシューティングすることができる。 | |
| 5.4 与えられたシナリオに基づいて、接続性の問題をトラブルシューティングすることができる。 | 5.4 与えられたシナリオに基づいて、自動化・オーケストレーションの問題をトラブルシューティングすることができる。 | |
| 5.5 与えられたシナリオに基づいて、一般的なパフォーマンスの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 4.6 特定の環境および関連するデータ（例えば、パフォーマンス、キャパシティ、トレンド）が与えられた場合、クライテリアを満たすように適切な変更を適用することができる。 | この出題項目では、リソース使用率、負荷分散が出題内容として追加されました。クラウドの認知、活用が進み、クラウドに関連するトラブルシューティングの実践的な手法に重きを置いています。 |
| | 5.2 与えられたシナリオに基づいて、一般的なキャパシティに関する問題をトラブルシューティングすることができる。 | |
| 5.6 与えられたシナリオに基づいて、自動化もしくはオーケストレーションの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 5.3 与えられたシナリオに基づいて、接続性の問題をトラブルシューティングすることができる。 | |